

2006年6月15日

東京大学医学部附属病院

広報企画部

第7回 記者懇談会ご案内（糖尿病・代謝内科） 平成18年6月26日

皆様におかれましては時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

第7回のテーマは、連日メディアの話題に上る「メタボリックシンドローム」です。講演者は、厚労省「健康フロンティア戦略」の一環として策定した、糖尿病と合併症予防のための戦略研究 J-D01T3 プロジェクトリーダーである、糖尿病・代謝内科 門脇 孝 教授です。メタボリックシンドロームの現状から、新しい診断・治療法の開発と最新知見まで、幅広くお話しします。

つきましては、下記要項をご確認いただき、適宜お申し込みくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。皆様のご参加をお待ちいたしております。

【開催日時】平成18年6月26日（月） 17:00～19:00

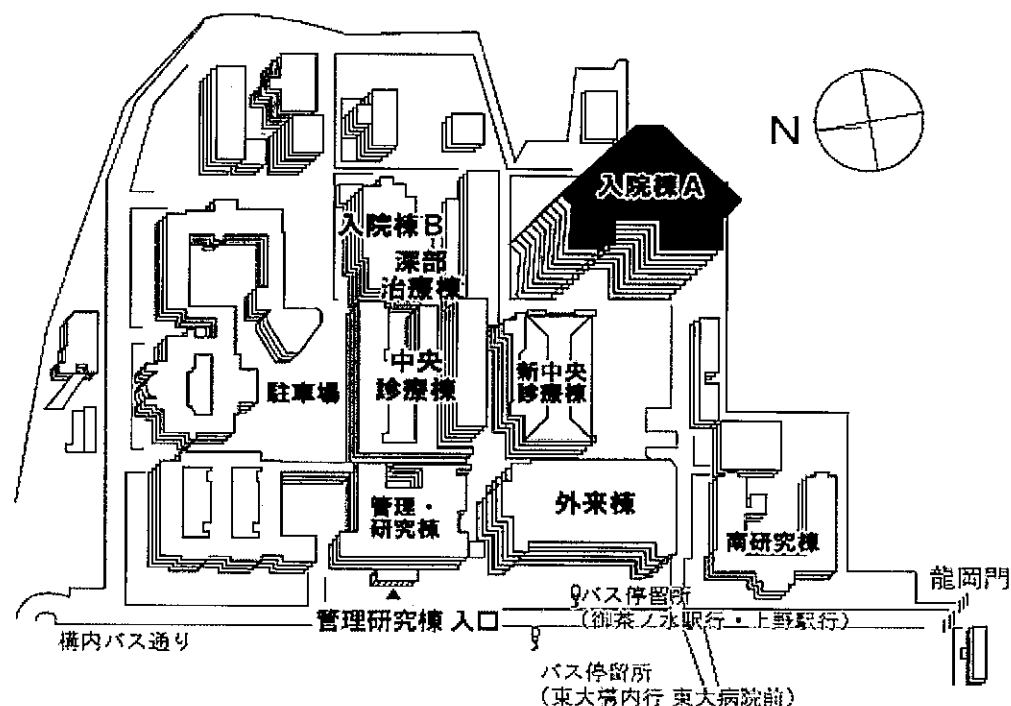
【開催場所】東京大学医学部附属病院 入院棟A 1階 レセプションルーム

【講演者】東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 門脇 孝 教授

【お申込方法】東京大学医学部附属病院 広報企画部までメール (pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp)にてお申込ください。

〆切 平成18年6月23日（金） 17:00迄

【会場地図】



【演 題】 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について
-我が国における現状と今後の対策を考える

平成 18 年 5 月 8 日厚生労働省はメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の我が国における患者数が有病者・予備群合わせて少なくとも 1960 万人に達すること、40～74 歳の男性の 2 人に 1 人、女性の 5 人に 1 人がメタボリックシンドロームの患者あるいは予備群であることを発表しました。メタボリックシンドロームとは肥満、特に内臓脂肪蓄積に伴い、軽度なものも含めて、高血糖・高脂血症・高血圧が合併する病態で、急速に増加している糖尿病と心筋梗塞・脳卒中など心血管病の予備群です。平成 20 年から始まる新しい健診・保健指導ではこのメタボリックシンドロームの早期発見と生活習慣介入が中心的な課題となります。

本懇談会では、メタボリックシンドロームについて現状をわかりやすく解説し、現在の診断基準の活用にあたっての留意点や実践的アプローチについて述べさせていただきます。また、メタボリックシンドロームの新しい診断・治療法の開発についての最新知見の紹介と今後の展望についてもディスカッションしたいと思います。

【お申込・お問合せ先】

東京大学医学部附属病院 広報企画部 （担当：榎本）

電話（直通）：03-5800-9188 e-mail: pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp

お席の確保等の調整があるため、参加ご希望の方はメールにて事前のお申し込みを宜しくお願い申し上げます。

〆切：平成18年6月23日（金）17：00迄
